

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の状態等
主穀単一 基幹従事者 2人	作付面積等 水稲単作 = 7 ha 水稲・麦 = 4 ha 大豆・麦 = 6 ha 麦単作 = 2 ha 大豆単作 = 1 ha 作業受託 = 8 ha 経営規模 20 ha	資本装備 ・トラクタ(38ps) 2台 ・乗用施肥田植機(8条) 1台 ・乗用管理機(ブーム・粒剤散布) 1台 ・コンバイン(自脱5条、汎用型) 各1台 ・育苗ハウス 600m ² ・温湯消毒器 1台 等 その他 ・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る。 ・汎用化された30a区画水田に基盤整備が行われている。 ・作業機械は個人所有、乾燥調製作業はカントリーエレベータ等を利用する。 ・転作は2/3を大豆・麦体系、1/3を麦、大豆単作の体系とする。	・複式簿記記帳の実施により経営と家計とを分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・ブロックローテーションによる米麦大豆の栽培により水田利用率を高める。 ・直売の強化と系統出荷の2本立てを基本に、多様な販売を行う。	・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 ・地域人材の活用を図る
主穀単一 (組織法人経営) 基幹従事者 6人	作付面積等 水稲単作 = 23ha 水稲・麦 = 10ha 大豆・麦 = 27ha もち加工 = 5t 作業受託 100ha 経営規模 水田 60ha	資本装備 ・トラクタ 23ps 1台 ・トラクタ 38ps 1台 ・トラクタ 75ps 1台 ・乗用施肥田植機 8条 2台 ・乗用管理機 2台 ・コンバイン 3台 ・大型育苗施設 1,500m ² ・温湯消毒器 2台 ・もち加工施設 一式 等	・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・経営体の体質強化のため、自己資本の充実を図る。 ・組作業体系を確立し、セット作業による効率的な栽培管理を行う	・給料制の導入 ・従事者全員及び雇用者の社会保険加入 ・就農希望者を受け入れ研修を兼ねた雇用対象とする

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事の 態様等
主穀単一 (組織法人経営) 続き		<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る。 作業機械は法人所有、乾燥調製作業は法人の他、カントリーエレベータ等を利用する。 年間を通じて農産物加工を行い、直売による付加価値販売を行う 地域全体が汎用化された30a区画水田に基盤整備が行われている 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックローテーションによる、米麦大豆の栽培により水田利用率を高める 加工も含めた直売の強化による流通体系を確立する 	
主穀単一 (集落営農経営) 基幹従事者 出役料金 1500円/ 時間 (10人の出役を想定)	<p>作付面積等</p> <p>水稲単作 = 9ha 水稲 - 麦 = 1ha 飼料稲 - 麦 = 5ha 麦単作 = 10ha 大豆単作 = 5ha</p> <p>経営規模 30ha (集落全体を借地とする)</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> 車庫兼作業場 200㎡ 1棟 トラクタ 30ps 1台 トラクタ 38ps 1台 乗用施肥田植機 6条 2台 乗用管理機 1台 コバシ 3台 育苗施設 300㎡ 1棟 温湯消毒器 1台 みそ加工資材 一式 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る。 地域全体が汎用化された30a区画水田に基盤整備が行われている 地域内担い手を明確にする 	<ul style="list-style-type: none"> 青色申告の実施 パソコン利用の経営管理 集落営農による土地配当金50,000円/10aが可能となる 組作業体系を確立し、セット作業による効率的な栽培管理を行う ブロックローテーションによる、米麦大豆の栽培により水田利用率を高める 加工も含めた直売の強化による流通体系を確立する 	<ul style="list-style-type: none"> 給料制の導入 従事者全員の社会保険加入

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の状態等
主穀単一 (集落営農経営) 続き		<ul style="list-style-type: none"> 作業機械は集落所有、乾燥調製作業はカントリーエレベータ等を利用する。 農産物加工を行い、直売による付加価値販売を行う 		
主穀・露地野菜複合 基幹従事者 2人	<p>作付面積等</p> <p>水稲-大麦 = 5.5 ha</p> <p>大豆-麦 = 5.0ha</p> <p>ブロッコリー (秋) = 1.3ha (春) = 0.2ha</p> <p>経営規模 12 ha</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> 車庫兼作業場(200㎡) 1棟 トラクタ(38,30ps) 2台 乗用施肥田植機6条 1台 乗用管理機(ブーム・粒剤散布) 1台 コンバイン 1台 育苗施設 300㎡ 温湯消毒器 1台 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る 地域全体が汎用化された30a区画水田に基盤整備が行われている 畑及び汎用化された水田に露地野菜を導入 作業機械は個人所有、乾燥調整作業はカントリーエレベーター等を利用 	<ul style="list-style-type: none"> 複式簿記記帳の実施により経営と家計とを分離 青色申告の実施 パソコン利用の経営管理 水稲、麦、大豆栽培との作業競合が少ないブロッコリーの作付体系を行う ブロックチェーンによる米麦大豆とブロッコリーなどの野菜栽培により、水田利用率を高める 直売の強化と系統出荷の2本立てを基本に、多様な販売を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 地域人材の活用を図る
主穀・水産食用養殖複合 基幹従事者 2人	<p>作付面積等</p> <p>水稲 = 5.5ha</p> <p>大豆-小麦 = 4.0 ha</p> <p>ホソモロコ(養殖池) = 0.5ha</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> トラクタ(38.30ps) 2台 乗用施肥田植機6条 1台 乗用管理機 1台 コンバイン 4条 1台 育苗施設 300㎡ 1棟 温湯消毒器 1台 	<ul style="list-style-type: none"> 複式簿記記帳の実施により経営と家計とを分離 青色申告の実施 パソコン利用の経営管理 	<ul style="list-style-type: none"> 家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事の 態様等
主穀・水 産食用養 殖複合 続き	経営規模 10ha	<ul style="list-style-type: none"> ・曝気用ポンプ 10台 ・自動給餌機 10台 等 その他 ・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る ・地域全体が汎用化された30a区画水田に基盤整備が行われている ・作業機械は個人所有、乾燥調製作業はコントリーエレベーター等を利用 ・日当たりと保水力のある土地で、水源が確保でき、給排水が自由にできる施設を有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る ・水田のブロッコリーにより水稻、麦、大豆の高品質、安定生産を行う ・農産物及びホンモロコは直売や契約出荷などによる多様な販売を行う ・養殖池は防水シート等の利用による低コスト経営を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
施設きゅうり・露地 野菜複合 基幹 従事者 2人	<p>作付面積等</p> <p>促成きゅうり = 2,000m²</p> <p>抑制きゅうり = 2,000m²</p> <p>越冬きゅうり = 2,000m²</p> <p>半促成きゅうり = 2,000m²</p> <p>冬ブロッコリー = 1.0ha</p> <p>経営規模</p> <p>低コスト耐候性ハウス 4,000m²</p> <p>普通畑 1.0ha</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コスト耐候性ハウス 2,000m² 2棟 ・作業所兼車庫40.2m² 1棟 ・トラクタ 25ps 1台 ・乗用管理機 1台 等 その他 ・水稻作は経営委託を行い、普通畑は交換耕作によって集積を図る ・キュウリ栽培は育苗の分業化、共同選果施設の利用により労働時間の軽減を図る ・ブロッコリーの育苗は、共同育苗施設を利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳の実施により経営と家計とを分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・労災保険の加入 ・施設、ほ場の団地化により、作業の効率化を図る ・IT機器の利用によるハウスの監視遠隔操作を行う ・育苗、選果、荷造りの外部委託により、効率的な経営管理を行う ・ハサップ方式の考え方を取り入れた 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 ・ハウスに中間気候室を設置し、健康に配慮する

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事 の態様等
続き			生産管理システム を導入	
施設トマト ・露地野 菜複合 基幹 従事者 2人	作付面積等 促成トマト = 2,000m ² 高糖度トマト = 1,000m ² 秋冬ブロッコリー = 1ha 経営規模 アクリルハウス 3,000m ² 普通畑 1ha	資本装備 ・アクリルハウス 2,000m ² 1棟 ・作業所兼車庫 40.2m ² 1棟 ・トラクタ 25ps 1台 ・乗用管理機 1台 等 その他 ・水稲作は経営委託を行い、 普通畑は交換耕作によっ て集積を図る ・トマトは共同選果施設を 利用し、選別、荷造り作 業の省力化を図る ・セルトレイ播種機は共同 利用する	・複式簿記記帳の実 施により経営と家 計とを分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営 管理 ・労災保険の加入 ・施設、ほ場の団地 化により、作業の 効率化を図る ・生物農薬や乗用管 理機の利用により 健康に留意した作 業を行う ・高糖度トマトは、 出荷先との契約に よる差別化した販 売を行う ・ハサップ方式の考 え方を取り入れた 生産管理システム を導入	・家族経営協定 の締結に基づ く給料制、休 日制の導入 ・農繁期におけ る臨時雇用者 の確保による 過重労働の防 止 ・作業の集中す るブロッコリー の定植時期 等は雇用労力 を効率的に利 用し、ゆとり ある労働環境 を確保する
施設トマト (直売) 基幹 従事者 2人	作付面積等 促成トマト = 1,000m ² 抑制トマト = 1,000m ² 半促成きゅうり = 1,000m ² ほうれん草 = 0.2ha ブロッコリー = 0.2ha ねぎ = 0.2ha	資本装備 ・アクリル温室1,000m ² 2棟 ・作業所兼車庫 100m ² 1棟 ・トラクタ 25ps 1台 ・乗用管理機 1台 等 その他 ・直売所、量販店直売コー ナーを利用した消費直結 型経営を行う ・周年出荷のトマトに季節	・複式簿記記帳の実 施による経営と家 計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営 管理 ・労災保険の加入 ・施設、ほ場の団地 化により、作業の 効率化を図る ・販売は、農協直売	・家族経営協定 の締結に基づ く給料制、休 日制の導入 ・農繁期におけ る臨時雇用者 の確保による 過重労働の防 止

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事の 態様等
施設トマト (直売) 続き	さといも = 0.2ha スイートコーン = 0.3ha 経営規模 アクリルハウス 2,000m ² 普通畑 1ha	感を活かした多品目の露地野菜を組み合わせ、一年中足が向く直売を行う ・輪作体系の実施と畑地灌漑施設の活用により生産安定と品質向上を図る	所の他、学校給食や近隣量販店直売コーナー向け契約出荷を行う ・出荷は、規格の簡素化、通いコンテナ利用により省力化、流通経費の削減に努める ・ハサップ方式の考え方を取り入れた生産管理システムを導入	
施設軟弱 野菜 基幹 従事者 2人	作付面積等 こまつな = 延3,000m ² みずな = 延3,000m ² 水耕ほうれんそう = 延16,000m ² 水耕ルッコラ = 延16,000m ² 経営規模 低コスト耐候性ハウス3,000m ² 養液栽培装置 2,000m ²	資本装備 ・低コスト耐候性ハウス 1,000m ² 3棟 ・養液栽培装置1,000m ² 2台 ・葉菜類自動袋詰機 1台 ・予冷库 2坪 1台 等 その他 ・大型施設を高度に利用した軟弱野菜専作の周年生産経営を行う ・土地の貸借による団地化を図り、同一地内に集積したハウスを設置する ・周年雇用を確立する ・年間を通して出荷量を確保し、高品質野菜を安定供給するために、技術平準化を図る	・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・労災保険の加入 ・施設の団地化により、作業効率化を図る ・IT機器を活用したハウスの監視、遠隔操作を行う ・ハサップ方式の考え方を取り入れた生産管理システムを導入 ・生産履歴や生産物の硝酸、ビタミンC濃度などをインターネットにより消費者にわかりやすく情報公開する	・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の状態等
続き			<ul style="list-style-type: none"> ・収穫、調製作業は雇用労力を活用し生産規模を拡大 	
施設いちご・主穀複合 基幹従事者 2人	<p>作付面積等 促成いちご = 2,000m² 高設栽培いちご(摘み取り体験用) = 1,000m² いちご苗生産 = 40,000株 水稻 = 2.0ha</p> <p>経営規模 低コスト耐候性ハウス 3,000m² 水田 2ha</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コスト耐候性ハウス 3,000m² 1棟 ・高設栽培装置 1,000m² 1台 ・作業場兼直売所 30m² 1棟 ・駐車場 100m² ・育苗ハウス 1,000m² 1棟 ・トラクタ 30ps 1台 ・田植機 1台 ・自脱型コンバイン 1台 等 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暗渠排水、パイプラインなどの基盤が整備された水田を利用する ・いちご1,000m²は高設栽培の摘み取り園とし、収穫体験を行う ・いちごの育苗は空中採苗方式とし、栽培ハウスは大型低コスト耐候性ハウスを利用する ・コンバイン等の大型機械は共同利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・労災保険の加入 ・いちごは空中採苗により苗増殖の効率化と作業環境の改善を図る ・ハサップ方式の考え方を取り入れた生産管理システムを導入 ・いちごは市場出荷のほか直売や摘み取りを行い、消費者の意見を取り入れた生産を行う ・水稻は、直売による消費者に直結した多様な販売を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
露地野菜 ・ほうれんそう複合 基幹従事者 2人	<p>作付面積等 ほうれんそう = 1.1ha みずな = 1.8ha さといも = 0.7ha 緑肥作物 = 1ha</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業場 100m² 1棟 ・予冷库 2坪 1基 ・トラクタ 27ps 1台 ・トンネル支柱打込機 1台 ・シーダー-マルチ 1台 ・葉物類袋詰機 1台 ・野菜(葉物)洗浄機 1台 ・ハンマーナイフ 1台 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・ほ場を団地化し、作業効率を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・安定的周年雇用者の確保による過重労働の防止

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の様態等
露地野菜 ・ほうれんそう複合 続き	経営規模 2 ha	その他 ・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る ・排水の良い基盤整備畑を利用し輪作体系を組み立てる ・作業機械は個人で利用 ・ほうれんそうはマルチを利用した秋～春まきのトンネル栽培、みずなは春から秋まきのトンネル(雨よけ)栽培、さといもは普通マルチ栽培とする	・生産履歴を記帳しトレーサビリティシステムを導入する ・ハサップ方式の考え方を取り入れた生産管理システムを導入	・雇用労働者は安定的に周年就労を行う
ブロッコリー ・スイートコーン複合 基幹 従事者 2人	作付面積等 春ブロッコリー = 1.5ha (二重トンネル栽培 0.5ha) (一重トンネル栽培 1.0ha) 秋冬ブロッコリー = 2.2ha スイートコーン = 2.0ha (トンネル栽培 1.0ha) (露地栽培 1.0ha) <経営規模> 普通畑 3.5ha	資本装備 ・作業所兼格納庫100m ² 1棟 ・育苗ハウス 33m ² 一式 ・トラクタ 27ps 1台 ・半自動移植機 1台 ・支柱打込機 1台 ・ロータリ 1.6m 1台 ・畦立機 1台 ・動力噴霧器 1台 <その他> ・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る ・30a区画を中心とした基盤が整備されているほ場を利用 ・セルトレイ播種機械は共同利用とする ・秋冬ブロッコリーは労力配分などを考慮し、多彩な品種構成とする	・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・厳選出荷の徹底、真空予冷、鮮度保持フィルムの利用により高品質出荷を図る ・スイートコーンは半数は市場出荷、半数は朝取りによる契約販売とする ・作業の集中する早春ブロッコリーの定植時期等は雇用を効率的に利用し、余裕のある作業体系 ・ハサップ方式の考え方を取り入れた生産管理システムの導入	・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事者の態様等
ねぎ・にんじん複合 基幹従事者 2人	<p><作付け面積等></p> <p>ねぎ(冬まき) = 1.5ha</p> <p>ねぎ(春まき) = 1.5ha</p> <p>人参(冬まき) = 1.0ha</p> <p>水稻(普通植) = 1.5ha</p> <p>経営規模 4.5ha</p>	<p><資本整備></p> <p>・作業場 150m² 1棟</p> <p>・トラクター 55ps 24ps 2台</p> <p>・トラック・軽トラック 各1台</p> <p>・ねぎ: 移植機・掘取り機・皮むき機</p> <p>・人参: マルチソーダ・ひご差し機・葉切り機・洗浄機・選別機 各1台</p> <p>・水稻: コンバイン・田植機 各1台</p> <p>その他</p> <p>・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る</p> <p>・土地利用は排水の良い基盤整備畑・水田の輪作体系</p> <p>・作業機械は主に個人で使用</p> <p>・ねぎは冬まきと春まき栽培で全自動移植機による幼苗移植栽培</p> <p>・人参は冬まき栽培で水稻の乾燥調製はカトリーエベータ-を利用</p>	<p>・青色申告の実施</p> <p>・パソコン利用の経営管理</p> <p>・ほ場を団地化し、作業効率を高める</p> <p>・生産履歴を記帳しトレーサビリティシステムを導入する</p> <p>・ハサップ方式の考え方を取り入れた生産管理システムを導入</p>	<p>・安定的周年雇用者の確保による過重労働の防止</p> <p>・雇用労働者は安定的に周年就労を行う</p>
葉物単一 基幹従事者 2人	<p>作付面積等</p> <p>こまつな=5.4ha (0.9ha, 6作)</p> <p>みずな = 1.8ha (0.3ha, 6作)</p> <p>ベカナ = 0.5ha</p> <p>経営規模 1.7ha</p>	<p><資本整備></p> <p>・作業場 150m² 1棟</p> <p>・ハウス 12,000m²</p> <p>・予冷库 4坪 1基</p> <p>・トラクター 27ps 43ps 2台</p> <p>・葉物袋詰機 1台</p> <p>・トラック 1.5t 1台</p> <p>・軽トラック 1台</p> <p>その他</p> <p>・経営規模は遊休農地等を</p>	<p>・青色申告の実施</p> <p>・パソコン利用の経営管理</p> <p>・ほ場を団地化し作業効率を高める</p> <p>・市況情報・作業管理等のコンピュータの導入により効率的な経営管理を行う</p> <p>・生産履歴を記帳し</p>	<p>・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入</p> <p>・安定的周年雇用者の確保による過重労働の防止</p> <p>・雇用労働者は安定的に周年就労を行う</p>

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事の 態様等
葉物単一 続き		<p>積極的に借り受けて規模拡大を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水の良い基盤整備された畑を利用 施設・機械は個人で使用 こまつな、みずなはハウスを用いた周年生産 ベカナは露地の小トンネルを使った秋冬どり 	<p>トレーサビリティシステムを導入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ハサップ方式の考え方を取り入れた生産管理システムを導入 	
なし単一 基幹 従事者 2人	<p>作付面積等</p> <p>幸水 = 0.7ha 簡易被覆栽培 0.2ha 普通栽培 0.5ha 彩玉 = 0.1ha 豊水 = 0.2ha 晩生品種（新高、あきづき、王秋）0.2ha</p> <p>経営規模 1.2ha</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業所兼格納庫60m² 1棟 多目的防災網施設全設備 120a 一式 雨よけ施設 20a 一式 スピートスプレー 500L 1台 果樹園用トラクタ 28ps 1台 マニュアルスプレッター 1台 選果機 一式 軽トラック 1台 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る スピートスプレー等の大型機械は共同利用 労力配分などを考慮した多彩な品種構成 防除等の作業を効率的に行うため、栽培ほ場を団地化 	<ul style="list-style-type: none"> 複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 青色申告の実施 パソコン利用の経営管理 販売は庭先直売・宅配 人工授粉や収穫等の労力が集中する時期に援農ボランティアの利用やパートの雇用によるゆとりある経営 多目的防災網等の完備による安定経営 コンピュータによる顧客・経営管理 	<ul style="list-style-type: none"> 家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 安定的周年雇用者の確保による過重労働の防止

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の状態等
ぶどう単一 基幹 従事者 2人	作付面積等 露地ぶどう 0.5ha 雨除けぶどう 0.5ha 施設加温ぶどう 0.2ha 経営規模 1.2ha	資本装備 ・加温パンプハウス2,000㎡1棟 ・無加温パンプハウス 5,000㎡1棟 ・作業舎兼格納庫 1棟 ・直売施設 1棟 ・スプレッドスプレー 600L 1台 ・果樹用トラクタ 27ps 1台 ・運搬車 1台 ・軽トラック 1台 等 その他 ・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る ・トラクタ等の大型機械は共同利用 ・消費者ニーズへの対応のため大粒系、赤色大粒系の品種を利用 ・付加価値販売のため露地栽培は無核果処理を行う	・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・販売は全量を庭先直売・宅配 ・収穫等の労力が集中する時期は援農ボランティアの利用やパートの雇用によるゆとりある経営 ・多目的防災網等の完備による安定経営 ・コンピュータによる顧客・経営管理	・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・安定的周年雇用者の確保による過重労働の防止
茶（個別経営） 基幹 従事者 2人	作付面積等 乗用型摘採機管理茶園 3.8ha 通常茶園0.2ha やぶきた 2.0ha さやまかおり 1.0ha ふくみどり 0.6ha ほくめい 0.4ha 経営規模 4ha	資本装備 ・乗用型摘採機 1台 ・防霜ファン 1.8ha 一式 ・製茶機械 120k 一式 ・製茶工場 500㎡ 1棟 ・仕上げ機械 一式 ・トラック 4t 1台 ・冷蔵倉庫 33㎡ 1棟 等 その他 ・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る	・複式簿記記帳の実施による経営と家計の分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・乗用型摘採機、大型全自動制御方式製茶機械導入による省力化と軽労働化 ・茶販売業務に雇用労働力を活用する	・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・安定的周年雇用者の確保による過重労働の防止

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事 の態様等
茶（個別 経営） 続き		<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスの取れた早・中 ・ 晩生品種を組み合わせた茶園を造成し、良質な自園生葉を生産 ・ 生葉の生産農家を組織化し、17,000kgの良質生葉を購入 ・ 製茶加工は自動制御方式120k型機1ラインを導入 ・ 生産物は仕上げ茶として直接小売 	<ul style="list-style-type: none"> とともに、パソコンにより顧客管理を効率的に行う ・ 生産履歴の管理、ハサップの考え方を取り入れた生産方式の導入による安全安心な茶生産 	
茶（法人 経営） 基幹 従事者 5人	<p>作付面積等</p> <p>乗用型摘採機管理茶園 13.0ha 通常茶園2.0ha</p> <p>やぶきた 7.0ha さやまかおり 3.5ha ふくみどり 3.0ha ほくめい 1.5ha</p> <p>経営規模 15ha</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗用型摘採機 2台 ・ 防霜ファン 15ha 一式 ・ 製茶機械 120k 2組 ・ 製茶工場兼仕上げ工場兼店舗事務所1,500㎡ 1棟 ・ 仕上げ機械 一式 ・ トラック 1t 2台 ・ トラック 4t 1台 ・ 冷蔵倉庫 100㎡ 1棟 <p>等</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る ・ 茶葉は15ha、うち13haを乗用型摘採機管理茶園に整備 ・ 生葉の生産農家を組織化し、71,000kgの良質生葉を購入 ・ 最新鋭設備を導入し、合理的な機械・施設の整備による効率的で収益性の高い茶生産 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・ 青色申告の実施 ・ パソコン利用の経営管理 ・ 法人化に伴い適正な就労条件を整備 ・ 大型設備による軽労働化及び省力的で作業速度の速い作業体系 ・ 生産履歴の管理、ハサップの考え方を取り入れた生産方式の導入による安全安心な茶生産 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的周年雇用の確保による過重労働の防止

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の状態等
続き		<ul style="list-style-type: none"> 製茶加工は自動制御方式120k型機2ラインを導入 		
しいたけ 基幹 従事者 2人	<p>作付面積等</p> <p>植菌原木本数 30,000本</p> <p>用役ほだ木本数 85,600本</p> <p>経営規模 フルム 2,268m² ほだ場 35a</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業場兼倉庫 100m² 1棟 フレーム 2,268m² 7棟 暖房機 30~100坪用 7台 自動包装機 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> 住居付近にフレームを設置し、さらにフレームに隣接した休養ほだ場用の山林を保有 労力運搬車等の乗り入れが可能となるようほ場を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 きのこ採取、選別及び包装等の軽作業は雇用労力を活用 出荷の3割は県内量販店との契約販売とし、残りは市場出荷 しいたけのみの生産により、労働生産性を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> 家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入
こんにゃく 基幹 従事者 2人	<p>作付面積等</p> <p>こんにゃく 1年生 0.5ha 2年生 1.6ha 3年生 0.6ha</p> <p>こんにゃく加工 生玉 4,900kg</p> <p>経営規模 2.7ha</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> 種玉貯蔵庫 75m² 1棟 作業場 100m² 1棟 予備乾燥ハウス 100m² 1棟 加工場 70m² 1棟 値付け機 2条 1台 土壤消毒機 直装式 6条 1台 堀取り機 直装式105cm 1台 蒸煮機 1台 玉播り機 1台 練り機 1台 <p>等</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模 	<ul style="list-style-type: none"> 複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 青色申告の実施 パソコン利用の経営管理 加工原料の自家生産により低コスト化を図り、加工部門による収益の安定化を図る 加工部門は法人経営 ハサップの考え方を取り入れた生産加工により安全性を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> 家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事の 態様等
こんにゃく 続き		<p>拡大を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにゃく生玉は、種用と加工用を除き全量を農協出荷する ・生芋によるこんにゃく加工販売を通年行う ・減農薬・減化学肥料による生産物からなる「こだわりこんにゃく」の加工 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元を中心とした直売所、量販店、デパート販売を行う 	
酪農 (加工含む) 基幹 従事者 2人	<p>作付面積等</p> <p>生産 常時搾乳牛 37頭 飼料生産延べ 8.5ha</p> <p>加工 アイスクリーム 7000L</p> <p><経営規模> 経産牛 40頭 育成牛 19頭 飼料畑 5.0ha アイスクリーム製造 5万6千食</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛舎(成牛舎、育成舎等) 1,048m² 5棟 ・バルククーラ、自動給餌機等 一式 ・トラクター 48ps 1台 ・細断型ローバレー 1/3台 ・トラック 2t 1台 ・アイスクリーム製造・販売施設 42m² 1棟 ・アイスクリーム製造設備 ・パースライザ 30L 1台 ・アイスクリームフリーザ 2~4L 1台等 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る ・大型機械が利用可能な飼料畑を団地化する ・糞尿は堆肥化し、飼料畑の土づくりを行う ・アイスクリームの製造販売を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・ハサップ方式の考え方を取り入れた生産管理 ・粗飼料の増産と収穫調製作業の省力化 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・安定的周年雇用者の確保による過重労働の防止 ・搾乳ユニット自動搬送装置の導入による搾乳労働の負担の軽減

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の様態等
肉用牛 基幹 従事者 2人	作付面積等 黒毛和種出荷頭数 = 39頭 交雑種出荷頭数 = 129頭 経営規模 肉用牛 250頭	資本装備 ・牛舎 1,810㎡ 3棟 ・堆肥舎 200㎡ 1棟 ・収納庫等 300㎡ 2棟 ・飼料タンク 20t 4基 ・飼料攪拌機 10m 2台 ・自動給餌車 700kg 1台 ・牛衝機 1t 1台 等 その他 ・畜舎は追い込み式の育成 ・飼育牛舎とする ・素牛（去勢）は県内産の和牛と交雑種を導入し、若齢肥育を行う ・自給飼料は基盤整備されたほ場を団地化して栽培	・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・ハサップ方式の考え方を取り入れた生産管理を行う ・インターネットにより生産履歴を公開 ・耕畜連携を行い粗飼料を確保 ・堆肥舎を整備し糞尿の適切な処理を行う	・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用確保による過重労働の防止
養豚（加工含む） 基幹 従事者 2人	作付面積等 年間肉豚出荷頭数 = 1700頭 加工 = ハム・ソーセージ 280kg 経営規模 豚 950頭 （種雌豚80頭） （種雄豚6頭） （育成・肉豚864頭）	資本装備 ・豚舎 933㎡ 4棟 ・管理室・飼料庫70㎡ 1棟 ・子豚育成施設 16基 ・自動給餌機 2基 ・自動除糞機 1基 ・飼料配合機 1基 ・ハム・ソーセージ製造施設 90㎡ 1棟 等 その他 ・飼育はストール飼いとし、育成は隔離施設、肉豚舎はオガコ豚舎を利用 ・糞尿処理は地域の堆肥プラントを利用 ・繁殖・肥育一貫経営	・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・ハサップ方式の考え方を取り入れた生産管理を行う ・消費者のニーズにあったブランド化と加工販売 ・パソコンを活用した個体管理やインターネットによる情報の収集と提供	・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・安定的周年雇用の確保による過重労働の防止

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事 の態様等
養鶏 基幹 従事者 2人	作付面積等 常時成鶏羽数 = 19,870羽 鶏卵年販売量 = 出荷 205,033kg 産地直売 87,872kg 経営規模 採卵鶏 21,000羽	資本装備 ・ ウインドレス成鶏舎804㎡ (全自動ケージシステム) 3棟 ・ 鶏糞強制発酵装置 1基 ・ 鶏卵処理作業・直売所 60㎡ 1棟 ・ スチームクリーナー 1台 ・ 鶏糞袋詰め機 1台 ・ 小型トラック 1台 等 その他 ・ 畜舎はウインドレス鶏舎 とし、全自動ケージシス テムを利用し、鶏糞は強 制発酵装置を導入し、良 質な堆肥生産を行う ・ 生産した鶏卵の約30%は 産地直売とし、70%は市 場出荷 ・ 鶏糞の発酵堆肥は自家販 売	・ 複式簿記記帳の実 施による経営と家 計との分離 ・ 青色申告の実施 ・ パソコン利用の経営 管理 ・ ハサップ方式の考 え方を取り入れた 生産管理を行う ・ 作業の単純化、自 動化により省力的 な管理を行う ・ 雇用労力の活用によ る直売鶏卵の処 理・包装	・ 家族経営協定の締結に基 づく給料制、休 日制の導入 ・ 安定的周年雇 用確保による 過重労働の防 止
洋ラン 基幹 従事者 2人	作付面積等 ファレノプシス 1,000㎡ 経営規模 アクリルハウス 1,000㎡	資本装備 ・ アクリルハウス 1000㎡ 1棟 ・ 作業場兼資材置き場 1000㎡ 1棟 ・ 暖房機 2台 ・ 冷房機 75馬力 3台 ・ 除湿機 6馬力 2台 ・ トラック 1台 ・ パソコン 1台 等 その他 ・ 生育ステージ別に生産を 分担した生産グループに よるリレー栽培を行う ・ 信頼関係に基づき、各生 産グループ間の種苗等の	・ 複式簿記記帳の実 施による経営と家 計との分離 ・ 青色申告の実施 ・ パソコン利用の経営 管理 ・ 生育ステージ別リ レー栽培による効 率的な経営 ・ 信頼される品質に よる直売と市場出 荷 ・ 作業を単純化、マ ニュアル化し雇用 労力の効率的活用 を図る	・ 家族経営協定の締結に基 づく給料制、休 日制の導入

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事 の態様等
洋ラン 続き		<p>供給を確実にを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産は高温処理を行った株を購入し、出蕾、開花させて出荷する経営を行う 販売先を明確にした直売（卸）と市場出荷を行う 	<ul style="list-style-type: none"> パソコンによる情報ネットワークシステムを活用し、生産・流通・消費に関する情報の収集、発信を行う 	
鉢物・苗木 基幹 従事者 2人	<p>作付面積等</p> <p>苗木 (ハング、ミニ等) 7,260㎡</p> <p>鉢物 (シラネ、ササ等) 2,904㎡</p> <p>経営規模</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリルハウス 1650㎡ ・ハイハウス 1650㎡ 	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリルハウス 1650㎡ 1棟 ・ハイハウス 1650㎡ 1棟 ・蒸気土壌消毒機 1台 ・ホットインクマシン 1台 ・フロントローダー 1台 ・フォークリフト 1台 <p>等</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の集中化により、効率的作業体系を組むことができる ・市場出荷と直売（卸）を行う ・セル成型苗の利用により育苗作業を省力化し、施設の回転率を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・労災保険の加入 ・作業を単純化、マニュアル化し、雇用労働力の効率的活用を図る ・市場、小売店との連携を密にし、消費者ニーズを創出する品目、品種を栽培する ・パソコンによる情報ネットワークシステムを活用し、生産・流通・消費に関する情報の収集、発信を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・安定的周年雇用者の確保による過重労働の防止 ・雇用労働力は1日5時間程度の就労しやすい時間設定
ユリ 基幹 従事者 2人	<p>オリエンタルハイブリッドリリ</p> <p>経営規模</p> <p>アクリルハウス 5,000㎡</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリルハウス 1,250㎡ 4棟 ・トラクタ 20ps 1台 ・冷蔵庫 6.6㎡ 1台 ・選花機 1台 ・作業場 100㎡ 1台 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事の 態様等
ユリ 続き		<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設内には暗きょ排水を設置 出荷は共同出荷施設を利用 良質な球根を共同購入により、継続的に安定価格で確保 年間を通してロットを確保し、高品質切り花を安定供給するため、生産組織内の技術の平準化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリルハウスは軒を高くするなどトラクタでの作業が安全に行える構造とする ・販売は共選共販による市場出荷とし年間を通して安定供給する ・球根は共同購入とし、大口ロットにより種苗コストの低減を図る ・パソコンによる情報ネットワークシステムを活用し、生産・流通・消費に関する情報の収集、発信を行う 	
宿根アスター 基幹 従事者 2人	<p>作付面積等 宿根アスター = 1.5ha</p> <p>経営規模 ハ°イ°ハウス 6,000m² 普通畑 0.3ha</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハ°イ°ハウス 200m² 30棟 ・出荷調製室220m² 1棟 ・保冷库 7m² 1棟 ・乗用トラクタ 25ps 1台 ・暖房機 1台 ・選花機 1台 ・動力噴霧機 1台 <p>等</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハ°イ°ハウスは基盤整備により排水やかん水施設の整備されたほ場に設置 ・苗冷蔵の大型冷凍庫は共同利用 ・年間を通して高品質切り花を安定供給 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・シェード装置の改良、作業場の改善等により重労働を軽減 ・販売は共同出荷施設を利用した共選共販体制 ・消費者ニーズの把握に努め、品種育成及び作付品種の選定に反映させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事の 態様等
宿根アスター 続き			<ul style="list-style-type: none"> 直売所での販売も取り入れ、市場規格外の切り花を有効利用 	
バラ 基幹 従事者 2人	<p>作付面積等 バラ切花 4,000㎡</p> <p>経営規模 アクリルハウス 4,000㎡</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> アクリルハウス 1,000㎡ 4棟 養液栽培システム 4,000㎡ 一式 多目的細霧装置 4,000㎡ 一式 重油タンク 一基 暖房機 4台 作業場兼事務所等 50㎡ 1棟 保冷库 6.6㎡ 1棟 ワゴン車 1台 パソコン 1台 <p>等</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場、消費者と近接した立地条件を活かし、直売等も行う アクリル温室内に養液栽培システム、多目的細霧装置を導入し省力安定生産を行う 改植は4年で行い、年間を通して出荷。仕立法はアーチング法で、高品質な切花を生産 	<ul style="list-style-type: none"> 複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 青色申告の実施 出荷は個別で市場に出荷するほかに直売を行う パソコンを活用し作業記録、労務管理、経営管理ホームページによるPRや販売等を効率的に行う 	<ul style="list-style-type: none"> 家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 施設内外の気温変化に対応できるように中間作業室を設置 農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の状態等
植木・苗木 基幹従事者 2人	作付面積等 アジサイ 2,000㎡ アザレア 1,200㎡ ウツギ 1,000㎡ コナリ 1,200㎡ その他 6,600㎡ 経営規模 ・育苗ハウス 1,000㎡ ・普通畑 1.1ha	資本装備 ・育苗ハウス 200㎡ 5棟 ・作業場兼車庫 150㎡ 1棟 ・冷蔵庫 1台 ・トラクタ 1台 ・土壌消毒機 1台 ・動力噴霧器 1台 ・ホットインクマシン 1台 ・頭上かん水システム 1台 等 その他 ・コンテナ栽培による周年出荷 ・育苗ハウスを整備し、繁殖から成品までの一貫生産体制 ・造園業者等の実需者や量販店等との連携を強化し、販路の拡大と確保を図る	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・労災保険の加入 ・実需者・量販店等との連携を強化し販路を確保する ・消費者ニーズに合った種類・品種を選定し効率的な経営を行う	・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・安定的周年雇用者の確保による過重労働の防止
花木鉢物 基幹従事者 3人	作付面積等 ウメ 130a マユミ 140a その他 180a 経営規模 ・ハイハウス 1,000㎡ ・鉄骨ハウス 1,300㎡ ・植木畑 4.2ha	資本装備 ・ハイハウス 1000㎡ 5棟 ・鉄骨ハウス 1300㎡ 2棟 ・トラクタ 30ps 1台 ・植木堀取機 1台 ・トラック 2t 1台 ・軽トラック 3台 ・パソコン 一式 等 その他 ・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る ・育苗ハウスを整備し、繁殖から成品までの一貫生産体制 ・実需者や量販店等との連	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・労災保険の加入 ・花木鉢物のほかに草本性鉢物を取り入れ、雇用の安定的確保を図る ・常にマーケティングを行い、短期的に高収益が見込める樹種も積極的に導入し、経営の安定を図る	・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・安定的周年雇用者の確保による過重労働の防止 ・年間を通じた雇用者と季節別の雇用者を積極的に活用して安定生産体制を整える

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の様態等
花木鉢物 続き		携を強化し、販路の拡大と確保を図る		
養蚕複合 基幹 従事者 2人	作付面積等 養蚕（収繭量） = 3,380kg 菌床シタケ = 6,460kg ワラビ = 800kg フキ = 900kg 経営規模 桑園 3.3ha	資本装備 建物 壮蚕飼育室、稚蚕飼育室、上蔭室、培養棚、貯桑室 637㎡ 施設 ・ 稚蚕飼育施設30箱 ・ 壮蚕自動飼育装置25箱用、シタケ兼用 ・ 条桑刈取機 1台 ・ 自動収繭毛羽取機 1台 ・ 乗用トラック 12.5ps 等 その他 ・ 経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る ・ 農協等からの植菌済シタケ菌床を購入 ・ 山菜類は旅館、直売所への販売を行う ・ 高齢者等の季節雇用労働力を安定的に確保	・ 複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・ 青色申告の実施 ・ パソコン利用の経営管理 ・ 耕地及び生産設備の高度利用による効率的な複合経営を行う ・ 生産物の販売は、市場出荷及び直売所と等の利用による安定的販売先の確保を図る	・ 家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・ 安定的周年雇用確保による過重労働の防止 ・ 農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
キンギョ 養殖 基幹 従事者 2人	作付面積等 小赤生産 = 0.3ha 更紗和金類 = 0年魚 0.2ha 1年魚 0.1ha 琉金類 = 0年魚 0.2ha 1年魚 0.2ha 経営規模 養殖池 1.0ha	資本装備 ・ 養殖池2.5a × 16面 計40a ・ 養殖池5.0a × 12面 計60a ・ 井戸・給水設備 75mm × 50m 計2本 ・ 出荷選別用ピコル鉄骨 120㎡ 1棟 ・ 作業室兼調餌・飼料庫 木造100㎡ 1棟 ・ 曝気用ポンプ 28台 ・ 自動給餌機 28台 等	・ 複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・ 青色申告の実施 ・ パソコン利用の経営管理 ・ 養魚池を小割化して労力の分散と危険分散による安定生産を行う ・ 周年に渡って需要があることから、	・ 家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事の 態様等
キンギョ 養殖 続き		<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽当たりと保水力のある土地で、水源が確保でき、給排水が自由にできる施設を整備する ・種苗の自家生産による一貫生産選抜飼育による高品質魚生産を行う ・観賞魚市場への計画出荷を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷時期を選ばず計画的な周年出荷を行う ・自動給餌機の導入により週休制が可能となり、ゆとりある生活設計による豊かな生活を創出 ・家族労力に合わせた生産計画に基づく経営を行う 	
山間観光 農業 基幹 従事者 2人	<p>作付面積等</p> <p>雨よけぶどう = 60a</p> <p>露地ぶどう = 40a</p> <p>いちご = 2,000m²</p> <p>経営規模</p> <p>ぶどう 1.0ha</p> <p>いちご 0.2ha</p>	<p>資本装備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨よけ施設 2棟 60a ・鉄骨ビニール温室 1棟 2,000m² ・作業場 1棟 30m² ・売店 1棟 30m² ・果樹棚 3棚 100a ・ｽﾌﾟﾚｰ 1台 自走 ・ﾄﾗｸﾀｰ 1台 24ps 等 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農山村の豊かな景観を活用 ・駐車場、トイレ、子供向け遊具等の付帯施設を整備 ・雇用労力の安定確保 ・車いす用施設の整備等、ユニバーサルデザインの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・販売方法は直売、宅配とする ・収穫体験、加工体験、川遊び等のレジャーとの組み合わせを行う ・観光業との連携を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・安定的周年雇用確保による過重労働の防止 ・担い手対策としての研修生受入と就職就農を行う

営農 類型	経営規模	生産方式	経営管理の 方法	農業従事の 態様等
都市観光 農業 基幹 従事者 2人	作付面積等 ぶどう = 0.6ha ブルーベリー = 0.4ha キウイフルーツ = 0.2ha さつまいも = 0.3ha スイートコーン = 0.1ha 枝豆 = 0.1ha だいこん = 0.1ha 経営規模 樹園地 1.2ha 普通畑 0.5ha	資本装備 ・販売所 30㎡ 1棟 ・トイレ 6㎡ 1棟 ・駐車場 120㎡ 1か所 ・トラクタ 20ps 1台 ・スロートスプレ 1台 ・ハンマナイフ等 1台 その他 ・経営規模は遊休農地等を積極的に借り受けて規模拡大を図る ・都市地域で地域住民と共生できる樹園地、露地野菜畑を活用する ・駐車場、販売所、トイレ等の施設を完備し、消費者にとって快適な販売を行う ・栽培履歴の記録により、安全・安心な果実や野菜を安定的に提供 ・農園、販売所はユニバーサルデザインによるバリアフリー化に努める	・複式簿記記帳の実施による経営と家計との分離 ・青色申告の実施 ・パソコン利用の経営管理 ・販売は、果実は収穫体験、土産販売、宅配便とし、野菜は収穫体験、土産販売とする ・地元観光協会、自治体との連携を強化し、多様な方策により消費者との接点を増やす	・家族経営協定の締結に基づく給料制、休日制の導入 ・安定的周年雇用確保による過重労働の防止 ・栽培、販売業務で雇用を活用し、特に接客対応を重視